

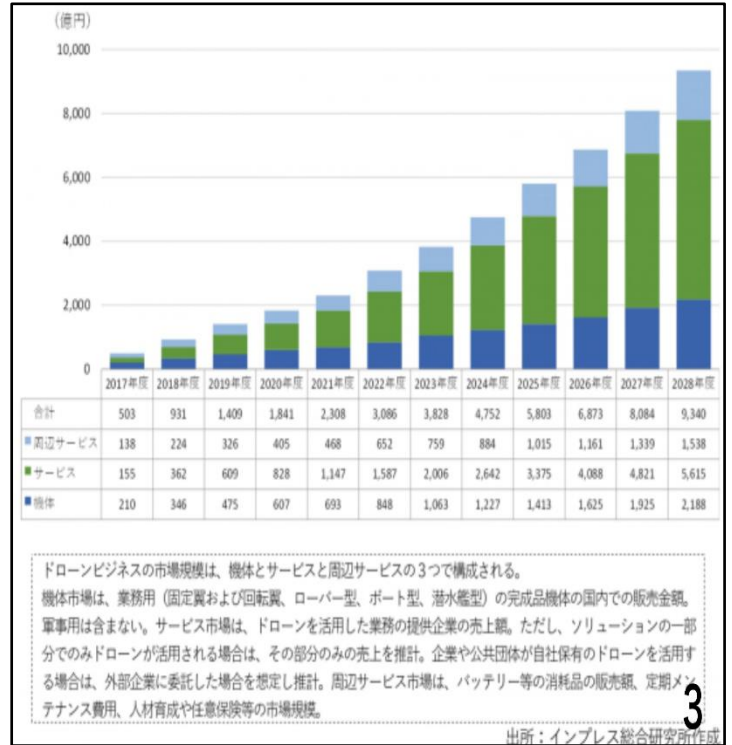
「ドローンの将来性について」



○ドローン業界の市場規模について

ドローン業界の市場規模はドローンビジネス元年と言われている 2016 年からずっと右肩上がりに成長を続けている産業です。2019 年には 1409 億円に到達して、2021 年には 2308 億円で前年度比 64%増しに成長しています。世界的には 4 兆 8000 億円という、莫大な市場規模のビジネスに成長しています。2025 年には 6500 億円に到達すると言われていますが、これと同じ市場規模の業界は、マンガ大国である日本の、コミック市場と大体同じくらいです。これだけ市場が成長している要因として、まず 1 つ目は国が空の産業革命というスローガンを掲げて積極的に活動をしていることが挙げられます。次に、万が一に備えてドローンの損害保険も充実してきたことも成長につながったと思います。またコロナでキャンプなどのアウトドアの人口が増えたことで、自然

に対する関心が高まったことも要因と言われています。ドローン業界はこのくらい成長が期待されていて、間違いなく次の最先端テクノロジーと言われている業界です。



○ドローンパイロットの仕事内容

ドローンといえば空撮をイメージされる方が多いかと思います。ネットで検索してみると、「ドローンの空撮と動画編集」この2つ込みで大体相場は 10 万円から 30 万円と言われてます。普通の動画編集が大体 5 千円から 1 万円と言われてるので、それと比べると「ドローンの空撮と動画編集」がいかに高いかわかると思います。またドローンの仕事は空撮だけではなく、最近注目されているのは、建物や屋根を点検する「点検業務」といったものや、ドローンで農薬を撒く「農薬散布」も注目を浴びています。他にも「建築業界」だったり「土木業界」、「配送業界」や「測量」や「災害」などもドローンの活用が進んでいます。これらの実際の平均年収ですが、ドローン業界の全体の平均年収は 350 万円から 600 万円と言われてます。空撮カメラマンの場合は 350 万円から 640 万円。

測量士は 330 万円から 520 万円。農薬散布は 320 万円から 510 万円。警備業務は 300 万円から 500 万円。ということで、つい最近までは

ドローンが活用される業界

- 調査点検
- 測量
- 農薬散布
- 空撮
- 建築土木
- 防犯セキュリティー
- 災害人命救助
- エンターテイメント
- 物流

5

「ドローン=遊び」という印象が強かったのですが、もうすでに立派な職業として世の中に定着しています。

○ドローン業務は片手間でできない

最近ではドローンが身近になったので、会社内で内製化をされている企業様も多くなってきましたが、先ほどもお伝えしたとおりドローンは便利ですが手間やリスクがあります。皆さんそれぞれお仕事されている中で、ドローンを飛ばすことなんて簡単に思われていると思います

が、実はかなりハードな要求なのです。最近では、操縦技術はあっても知識が無いパイロットは軒並み書類送検されています。ドローンを飛ばした瞬間に何かしらの法に触れていることは間違いないので、怪しいと思われる場合は外注するのも一つの手段と言えるでしょう。

フライハイト
Tel 080-9126-0810
Mail freiheit0628@icloud.com
HP freiheit-drone.jp
〒671-1102
兵庫県姫路市広畑区蒲田1-110

高見 勇輝

17

